

## 団塊世代の国際環境協力

### 国際環境協力のご案内

現在退職期を迎えている団塊世代は、激甚公害時代から地球環境問題に至るまで多彩な環境経験を有しております。

一方途上国では身近な生活環境問題から産業公害まで様々な環境問題に直面しており、これらの問題解決に向け団塊世代の知識や経験が役に立ちます。

これまでの経験を活かし途上国の現地で環境保全活動に従事すれば、新たな体験とともに途上国の発展に貢献、という「やりがい」も与えてくれます。

### 国際環境協力活動実施団体について

団塊世代(シニア世代)がこれまで培った環境経験を活かし、途上国に赴いて国際協力に貢献しようとする場合、わが国で最大の活動を行なっているのが JICA(日本国際協力機構)のシニア海外ボランティア事業(こちら <http://www.jica.go.jp/activities/sv/>)ですが、その他様々な団体が国際協力活動を行っております。

これら活動団体について簡単に紹介致します。詳しくはそれぞれの web サイトをご覧ください。

海外協力・海外派遣および支援を行なっている JICA の主要な事業および、各種団体の主な活動を簡単に紹介致します。ご参考にして下さい。

各 WEB を参照していただきますと詳しい情報を調べることができます。

表1 JICA のシニアを対象した海外環境協力事業

シニアを対象した海外環境協力事業	主な活動
JICA シニア海外ボランティア事業	技術・技能を有する日本の中高年者を開発途上国に派遣。
JICA 日系社会シニアボランティア事業	日本の中高年者を中南米地域の日系社会へ派遣。
JICA 短期ボランティア事業	主に活動中の長期ボランティアを補完・支援する短期的派遣。

表2 海外協力・海外派遣及びその支援を行なっている主な団体

海外協力・海外派遣を行なっている主な団体	主な活動
(財)国際開発センター(IDCJ)	JICA など政府関連の調査事業や研修受入。
(財)日本国際協力システム(JICS)	直接的な派遣事業は行っていないが ODA などの国際協力事業の調達支援。
(財)国際協力推進協会(APIC)	国際協力情報提供・広報センターの業務および国際協力プラザの運営。
(財)国際研修協力機構(JITCO)	国際協力としての研修・技能実習。
(社)海外環境協力センター(OECC)	民間の立場からの国際環境協力。
(財)地球環境センター(GEC)	国際環境技術センター(IETC)が行なう都市環境管

	理のための活動支援。
(財)日本産業廃棄物処理振興センター(JW)	産業廃棄物の適正化の指導・養成訓練。
(財)日本環境衛生センター(JESC)	環境衛生団体等に対する技術指導および援助。
(社)国際環境研究協会	地球環境に関する研究、および対策技術水準の向上に係る支援。
(財)海外貿易開発協会(JODC)	開発途上国等の日系企業等への専門家派遣。
(財)海外技術者研修協会(AOTS)	開発途上諸国に対する民間ベースの技術協力・研修。
(財)省エネルギーセンター(ECCJ)	エネルギー分野における国際的な技術協力、人材育成などの活動。
(財)造水促進センター(WRPC)	海水の淡水化と排水の再利用/新技術の開発とその成果の普及活動
(社)産業環境管理協会(JEMAI)	産業由来の環境問題に対する産業マネジメント関連業務
(社)日本プラント協会(JCI)	プラントエンジニアリング産業の振興および国際協力活動。
(社)国際農林業協働協会(JAICAF)	諸外国との協力・交流事業及びFAO(国連食糧農業機構)に関連する事業
(社)海外建設協会(OCAJI)	わが国建設業者の海外活動に対する協力や建設業を通じた国際貢献への支援
(社)国際厚生事業団(JICWELS)	水道・医療関連の海外への福祉協力。
(財)自治体国際化協会(CLAIR)	自治体/地域における国際化支援。
(財)北九州国際技術協会(KITA)	産業開発と環境保全の調和をめざした国際技術協力。
宇部環境国際協力協会(宇部 IECA)	「宇部方式」の精神・手法による開発途上国への環境国際協力。
(財)オイスカ(OISCA)	アジア太平洋地区を中心に農村開発や植林活動。
(特活)ブリッジエーシアジャパン(BAJ)	女性などの自立を応援/技術修得や能力強化支援。
技能ボランティア海外派遣協会(NISVA)	シニア世代にボランティアとして活躍のできる場所を紹介。
特活)アムダ(AMDA)	医療救援と生活状態改善のための支援。
(特活)国際社会貢献センター(ABIC)	国際ビジネスの分野での国内外で民間レベルの支援・交流活動。
(財)青年海外協力協会(JOCA)	JICA ボランティア支援業務
(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)	NGO 団体支援業務
(特活)名古屋NGOセンター	NGO 団体支援業務
(社)日本技術士会	APEC エンジニア登録制度

## 関心はあるものの少々不安の方へ

これまで培った知識や経験を途上国で活用したいという気持ちはあるものの、海外経験が少なく、しかも途上国での生活など想像もつかず不安の方も多いことと思います。

多くの JICA シニア海外ボランティアの方々がこうした状況から一歩踏み出して現地へ赴任し活動しております。

こうした方々の経験談は JICA の Web サイトに掲載されておりますが、当センターでもとりまとめましたのでご一読いただき、是非チャレンジ下さい。

## JICA シニア海外ボランティア(SV)の経験談と対処法

### (1) 海外派遣に関する一般的な課題への対処

#### 海外赴任への一般的な不安

- ・ 海外業務未経験者の参加も増えており、経験がなくても参加可能。
- ・ 現地で気負わずに人間関係を築き、相手と同じ目線でコミュニケーションをとること。
- ・ 派遣前研修で語学、任国事情、安全管理等受講でき、現地 JICA 事務所のサポート体制も充実している。
- ・ 楽観的、プラス思考が重要。
- ・ 業務遂行と現地生活に関し、自分に必要な準備を見極めること。

#### 家族の理解

- ・ JICA あるいはインターネットにより現地の詳細な情報を入手し家族に説明する。
- ・ 健康と安全に対し、SV の過去の実績と JICA のサポートシステムが安心材料。
- ・ 健康診断データ等家族向けに安心材料を揃える。
- ・ インターネットでの家族とのやりとりを行う。

#### 現地生活への適応

- ・ 現地で仲間をつくり（日本人及び職場での趣味グル - プ等）、その交流によって現地情報を得、またストレスが解消できる。
- ・ 現地生活を楽しむ気持ちが大事。
- ・ 配偶者同伴が好ましい。

#### 健康の維持

- ・ ビタミン剤等健康管理に必要な常用薬の補給方法の確立（日本から取り寄せ、または現地での入手方法を確立）。
- ・ 食事の栄養バランス。
- ・ 休日・夜間等非常時の対処法を確認しておく。
- ・ ゴルフ、テニス等の日常的な運動。
- ・ 持病に対しては主治医の紹介状、JICA 健康管理センターによる現地医療状況のチェック。
- ・ 無理をせず、睡眠時間を十分取ること。
- ・ 男にも更年期障害があることの理解。

### (2) 現地での業務遂行に伴う課題

#### 語学力、コミュニケーション力

- ・ 日常会話程度の英語力は必要であり、「語学は度胸」で積極性と意欲を持って自己研鑽すること。がむしゃらにやる。
- ・ 自己紹介、挨拶、抱負等必要場面に使える虎の巻が便利。
- ・ 派遣前研修や現地語学研修がある。

- ・ 新聞、業務関連レポート、映画、カラオケ等様々な手段で英語力のレベルアップを図り、現地語は英語でのレッスンを受ける。
- ・ 現地赴任中もレベルアップするための教材を持参する。
- ・ 現場では英語が使えないことが多い。
- ・ 技術用語集があると便利。
- ・ 言葉に関しては出来るだけの準備をすれば、相応の効果がある。
- ・ 海外生活の不安解消のため TOEIC の勉強を。50～100 点のアップは容易。

#### 技術力、専門性

- ・ 国内にバックアップ体制をつくれれば、先方の要請に柔軟に対応できる。
- ・ 要請内容から想定し、事前の周到な準備、整理を行う。

#### コンピューター使用能力

- ・ パソコンは日本から持参する必要有り。
- ・ メールでのやり取り、インターネット検索は必須。
- ・ Excel、Word の中級レベルが必要、Power Point は必須。
- ・ 初級者はマニュアルを持参し赴任前後に習得。
- ・ 必要技法は現地日本人仲間、職場で教えてくれる人が見つかる。

#### その他業務遂行上の課題

- ・ C/P（カウンターパート）との関係、連携が重要。
- ・ 郷に入れば郷に従え、現地の考え方や仕事の進め方、スローペースに合わせる。全てを受け入れ順応する。
- ・ 語学力が必須、専門分野が具体的で限定されていれば、語学力が不足していても専門性で補えるが、環境分野の場合は企画調整的業務が多く、内容を伝えられる語学力が問われる。
- ・ 人脈を築き、必要な情報は積極的に取りに行くこと。
- ・ 安易に安請け合いはせず、できる範囲を明確にしておく。
- ・ 関係者と十分協議して提案・説明書類を作成し、提出保存する。
- ・ 予算、物品等現地でできることの見極めが重要。
- ・ 要請は背伸びしており、実際は初歩的対応が必要なこともある。
- ・ 教材作成の場合は、日本での古い教材が役に立つ。
- ・ 「あせらず、あなどらず、あきらめず」
- ・ 臨機応変の対応。